

# 2014(平成26)年度事業報告

2014(平成26)年4月1日から2015(平成27)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

## 1 事業実施の方針

東日本大震災から4年目を迎えた本年度は、沿岸部の高台・災害公営住宅への移転、原発被災者が抱える地域や家族の分断・子どもの健康問題などの課題に対して、飛躍的な発展は見込めないばかりか、震災の風化はますます進行することが予測された。故に、この間被災者が、孤立やあきらめ、絶望感に押しつぶされることのないよう、また、頑張ろうとする人達をさらに応援していけるよう、より一層一人ひとりの心情に寄り添い、様々な支援を駆使して事業を進めた。特に沿岸部は、来年度以降に訪れる移転時期に備えて、新天地で物心共に安らかな新生活を送るための準備期間と考え、新しいコミュニティの構築に向けた支援を進めてきた。また、南海トラフ巨大地震に対する愛知県の被災想定が発表されたことや、多発する集中豪雨水害に対し、市民の防災意識の向上、子ども防災、避難行動要支援者支援、避難所運営、災害ボランティアの質の向上などをキーワードに、地域ニーズに沿ったアプローチを丁寧に開拓・提供していくことを目標に、以下の事業を進めた。

## 2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員3名、嘱託職員5名、アルバイト3名、インターン1名【七ヶ浜事務局】嘱託職員2名、アルバイト3名(現地採用)【愛知県被災者支援センター】事務局長1名、派遣嘱託職員1名、派遣アルバイト2名

## 3 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業			
事業名		主体・協働先	事業内容
東日本大震災支援関連	七ヶ浜町基本支援	RSY	■足湯ボランティアの受け入れ運営■仮設店舗「七の市商店街(きずなハウスの運営)」、「きずな工房」「きずな公園」運営サポート■漁業支援(「七ヶ浜町ぼっけクラブ七友会」特産物販売支援)、農業支援(「田んぼアート」企画支援)■七ヶ浜町車座トーク(石川県穴水町との交流支援)■七ヶ浜復興応援サポータープロジェクトの推進等
	被災3県への「うるうるパック」配布	災害ボランティア支援プロジェクト会議(支援P)	■被災3県の高台・災害公営住宅移転者へのうるうるパックの配布。被災3県の社協等にて打ち合わせした。12月より月2回発送。7回発送済(宮城県亘理町宛計700個)。■保管用倉庫「RSY大口町倉庫」を確保した(大口町内)。福島県新地町(600個)、宮城県塩釜市(300個)、気仙沼市(200個)、岩沼市(300個)、石巻市(200個)各社協に発送(3月16日)。特定非営利活動法人3.11被災者を支援するいわき連絡協議会にご飯パック960個、白がゆ900個(3月24日)
	子ども復興支援企画	ユニー・グループホールディングス(株)	■ユニーのドネーション企画の橋渡し役としてその企画で集まった寄付金(350万円)で購入した仙台市立南材木町小学校、仙台市立折立小学校へ楽器を贈呈し、7月21日に南材木町小学校で両校の楽器贈呈式を運営した ■8月～11月まで全国サークルKサンクスにて実施の店頭募金の活用事業。仮設住宅に住む七ヶ浜町の小・中・高校生への学習支援・生涯学習機会提供のためカスタマイズしたキャンピングカーを購入した。車両(きずな号)は1月12日に完成

			披露式を執り行い、2月より運用を開始した。途中募金対象が広島土砂災害に一時的に変更となったが、20,900,654円をいただいた ■2015年8月20日ウインクあいちにてNaNa5931公演決定。ブラザー工業・国際ソロプチミスト名古屋など協賛団体を募る。1月15日、2月12日、3月18日に実行委員会を開催
	「絆ファンド」寄付金	ブラザー工業(株)	■社員から集められた寄付金をもとに、七ヶ浜町の応急仮設住宅風除室修繕事業、きずな公園支援、漁業・農業支援の実施等 ■5月31日・6月1日・14日、応急仮設住宅35件の風除室雨漏り修繕を実施。のべ45名のボランティアと10名の技術者対応 ■7月20日、きずな公園一周年事業実施。親子合わせて72名が参加し、ブラザー社員・RSYボラバスチームら40名と交流(ボランティアバス67陣)。きずな公園東屋修繕・新遊具(雲梯)追加事業を完了
	寄付助成	生活協同組合連合会アイチョイス	■組合員から集められた寄付金をもとに、年4回のボランティアバス派遣事業、移転後の集いの場づくりのためのサロン事業、3.11メモリアル企画事業の実施など ■6月6～9日(66陣)/田んぼアート支援(参加者12名)■11月14～17日(68陣)/ボッケ祭りin会津美里町(参加者9名)■12月12～15日(69陣)/七の市商店街3周年(参加者13名)12月■3月13～16日(70陣)/3.11メモリアル企画(参加者13名) ※67陣はブラザー予算で運行した
	ネットワーク		■JVOAD構想■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)■愛知県被災者支援センター(愛知県委託事業/事務局担当)■東日本大震災支援ボランティアセンターなごやへの参画
	福島県会津美里町支援	RSY	■檜葉町から宮里仮設住宅へ避難されている方々を対象に交流企画を実施(11月16日。ボランティアバス68陣)■自治会の要望により、自治会主催の夏祭り(8月3日)へ七ヶ浜町の花産物のBBQのブース出店■ならは雪まつり(2月7日)への参加など定期的な交流を続けている
	県外避難者支援	RSY	■愛知県被災者支援センターを通じて繋がった被災者を対象に、RSY事務所にてパッチワーク教室を実施中(隔週土曜日) ■名古屋市総合社会福祉会館/約70名/「内部被曝からいのちをまもる講演会」開催(9月10日)
	緊急救援	RSY	■被災地の緊急救援及び生活再建支援活動 ■7.9長野県南木曾豪雨水害(資器材提供・コーディネーター派遣・ボラバス運行)■台風12号水害[徳島県阿南市・海陽町・那賀町・高知県日高村・四万十町](資器材提供、8月23日海陽町にて陶器ミニバザー実施)■陶町からの陶器提供品の引き取り(8月18日)■8.16豪雨水害[兵庫県丹波市](資器材提供・コーディネーター派遣・炊き出し&生活相談会支援、陶器市ひなたぼっこカフェ11月9日。前山地区復興祭りで足湯11月16日) ■8.19豪雨水害[広島県広島市安佐北区](資器材提供・コーディネーター派遣)■宇治炭山からの陶器提供品引き取り(12月7日) ■11.22長野県神城断層地震[白馬村](コーディネーター派遣)、2月14日～15日「スキー&仮設交流バスツアー」ボランティアバス運行(参加者18名)、3月25～26日「子ども名古屋招待バスツアー」運行(参加者22名)
	周年	RSY・各地の被災地	■東海豪雨水害14周年⇒9月11日東海豪雨を語り継ぐ会・約20名参加■新潟県中越地震10周年⇒刈羽村社協主催「つながる絆in刈羽」にて、シンポジウムパネリスト・東北物産展ブース出展へボランティア含め6名が参加。全体では地元住民ら約200

		名参加。11月30日■阪神・淡路大震災20周年(KOBE スタディーツアー17名)
復興支援	RSY	■阪神・淡路大震災:11月15日震災後から交流を続けてきた西田敏子さん他界。遺産1千万円をRSYへ寄付。「西田基金」と位置づけKOBE復興に関わる事業に使用する■七ヶ浜住民車座トークin穴水町。4月29、30日、日本災害復興学会復興支援委員会2名、七ヶ浜町民6名、穴水町5名、7SEEDS2名、RSY4名■東日本大震災七ヶ浜追悼式参列。■東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや実行委員会参画。追悼式実施(3月11日。もちの木広場)
調査研究・出版事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
避難所運営の冊子づくり	WAM	■「避難所で地域住民が要援護者の命を守るための人材育成事業」を実施。検討委員会の開催、過去の被災地へのヒアリング、冊子作成、冊子を活用した研修プログラムの提案を実施。成果物「避難所運営の知恵袋」2200冊印刷(配布終了)
大学連携	名古屋大学	災害対策室・減災連携研究センターとの連携(各種研究会、イベント等への参加)
大学連携	京都大学	防災研究所との連携(各種研究会、イベント等への参加)
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携(各種研究会、イベント等への参加)。名古屋市中区栄学区・避難所環境整備事業等
人材交流・ネットワーク推進事業		
RSY 有識者パートナー		有縁の学識経験者を招き、RSY 会員を対象としたサロン形式の講演会等を企画するも、東日本大震災以降、休眠状態。抜本的な企画の練り直しが必要
RSY758(真如苑「shinjoプロジェクト」市民活動公募助成・ボランティア主体の市民目線に立った防災・減災啓発活動)	RSY	月1回の定例会の実施、2ヶ月に1回の「RSYde ないと」(新規会員獲得、会員・ボランティアの学習会の場)の実施、ボランティアメンバーによる被災地支援や防災・減災をテーマにした企画立案・実施、年1回ボランティア大交流会の実施 ⇒7月24日/名建協会議室/15名/RSYde ないと vol.3「スマホで防災」 8月2日/名古屋市内/23名/帰宅困難ウォーク 9月13日~14日/名城公園/42名/24時間チャリティーリレーマラソン 9月18日/名建協会議室/16名/RSYde ないと vol.4「栗田から聞く~RSYの歩み~」 11月13日/名建協会議室/12名/RSYde ないと vol.5「災害ボランティアジレンマ講座」 11月22日/名古屋市内/10名/帰宅困難ウォーク 12月6日/庄内緑地/4名/ぼらチャリ RUN 2月22日/名古屋YWCA ビッグスペース/45名/ボランティア大交流会実施
RSY ボランティア DAY	RSY	あるある発送作業やイベント準備などへの応援頂く 4月25日/事務所/10名/あるある73号発送作業 5月4日/もちの木広場/1名/ゴスペルイベントへの出展 5月5日/もちの木広場/2名/ゴスペルイベントへの出展 5月6日/もちの木広場/2名/ゴスペルイベントへの出展 6月27日/事務所/8名/あるある74号発送作業 7月12日/名東倉庫/8名/ボランティア活動資器材の搬出 8月5日/名東倉庫/5名/ボランティア活動資器材の搬出 8月11日/名東倉庫・東海建設倉庫/10名/ボランティア活動資

		<p>器材の搬出</p> <p>8月29日/事務所/3名/あるある75号発送作業</p> <p>8月30日/志賀公園/13名/手と手ともーやーこ広場出展</p> <p>8月30日/セントラルパーク地下街/22名/水害対応へ被災者支援ボランティア活動支援募金</p> <p>9月11日/金山駅/6名/商店街逸品名品テストマーケット出展</p> <p>9月12日/金山駅/4名/商店街逸品名品テストマーケット出展</p> <p>9月13日/久屋広場/7名/環境デーなごや2014への出展</p> <p>10月31日/事務所/3名/あるある76号発送作業</p> <p>11月1日/オアシス21/3名/消費者生活フェアへの出展</p> <p>11月2日/オアシス21/4名/消費者生活フェアへの出展</p> <p>11月6日/金山駅/3名/商店街逸品名品テストマーケット出展</p> <p>11月7日/金山駅/3名/商店街逸品名品テストマーケット出展</p> <p>12月12日/RSY事務所/5名/「うるうるパック」パック化作業</p> <p>12月23日/久屋大通駅南改札口/4名/白馬村支援ボランティア活動支援募金</p> <p>12月26日/RSY事務所/3名/あるある77号発送作業</p> <p>1月1日/熱田神宮/11名/元旦募金</p> <p>1月10日/栄三越前/4名/白馬村支援ボランティア活動支援募金</p> <p>1月22日/RSY大口町倉庫/5名/「うるうるパック」品受入作業</p> <p>1月25日/ナディアパーク/2名/ぼらチャリパークへの出展</p> <p>2月4日/RSY事務所/3名/「うるうるパック」パック化作業</p> <p>2月7日/栄三越前/3名/白馬村支援ボランティア活動支援募金</p> <p>2月27日/RSY事務所/9名/あるある発送78号</p> <p>3月1日/金山駅/3名/なごや環境大学10周年記念オープンキャンパスブース出展/きずな工房品、セキ浜ビスケット販売</p> <p>3月3日/大口町倉庫/9名/「うるうるパック」品受入作業</p> <p>3月11日/もちの木広場/6名/東日本大震災犠牲者追悼式</p> <p>3月12日/大口町倉庫/10名/荷物移動(東海建設名建協→大口町倉庫)</p> <p>3月14日/大口町倉庫/16・16名(午前・午後)/「うるうるパック」パック化作業</p> <p>3月22日/栄三越前/白馬村支援ボランティア活動支援募金</p> <p>3月25～26日/白馬村バスツアー/9名/名古屋市内観光所</p>
名古屋ネット	名古屋市など	<p>■なごや災害ボランティア連絡会：連絡会100回開催達成。</p> <p>「中部の未来創造大賞・優秀賞/中部経済連合会賞受賞■なごや防災ボラネット：三遠南信交流会参加/豊橋市。9月7日。名東倉庫ペイント/名東倉庫9月20日/54名。子ども防災デイキャンプ/戸田川緑地公園10月12日/78名■名古屋市研修生受け入れ/1名■ぼらチャリ出展(1月25日)ぼらマッチ出展(2月28日)</p>
愛知県ネット	愛知県など	<p>■あいち防災フェスタへの参加(モリコロ広場。11月9日)</p> <p>■愛知県二年目研修生受け入れ(7月～11月)12名</p>
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	<p>■岐阜アソシア障害者防災運動会での講評。■みえ防災市民会議との災害時応援協定の締結。■静岡県ボランティア協会：第10回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加(委員会、WG、当日参加者として)</p>
全国ネット	全国のNPO・NGO・社協・企業など	<p>■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN) ■災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P) ■震災がつなぐ全国ネットワーク(震つな) ■JVOAD構想などへの参画■平成26年度全社協・災害ボランティアセンター運営者研修参加(林)</p>
NPO ネット	名古屋市内のNPO など	<p>■中間支援NPOなどとの交流・連携</p> <p>■アスクネットからの大学生インターン受入(7月～9月)(名</p>

		市大生3名) ■JICA 中国：災害対応及びNGO の国際化第4回 日中NGO シンポジウム参加(浜田、松永)
養成講座・研修事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
防災人材育成(防災・減災カ レッジ)	あいち防災協働 社会推進協議会	■事務局担当、企画・運営補助。本年は、2期制で実施。第1 期548名(6月28日～9月27日)第2期110名(10月4日～1 月31日)。主な会場は、名大減災館。延べ26日間実施
みずから守るプログラム	愛知県建設部河 川課	■愛知県内のモデル地区にて、水害ハザードマップ作りや避難 行動訓練を実施■安城市鹿乗町、小川町合同で5月20日に運営 者企画会議。約40名参加。同町内で大雨行動訓練を実施。約200 名参加(6月28日)■二本木連合町内会で、手づくりハザードマ ップWS、まち歩き(9月27日)。29名参加。二本木連合町内会で てづくりハザードマップWSを実施(10月22日)。13名参加
津波防災セミナー 避難所運営訓練(HUG)	名古屋市東区	■津波防災セミナー(11月27日/正色学区約40名参加、1月23 日/豊治学区約40名参加、3月15日/戸田学区約40名参加)。 ■3月6日・9日全学区において避難所運営訓練HUGを実施
避難所運営訓練	名古屋市熱田区	■モデル地区における避難所運営訓練での講演会など ■11月22日、29日にモデル地区を対象に、避難所運営訓練 への講評、避難所の課題に関する講演会を実施
避難所運営リーダー養成・ フォローアップ	名古屋市東区	■HUGの実施、過去3ヶ年の修了者を対象にした避難所運営 訓練の実施など■7月8日・26日HUG・東区全学区自主防災 会約120名参加。2月14日葵・筒井・東桜・山吹・東白壁学 区約100名参加)・21日避難所運営訓練を実施
避難所環境整備	名古屋市中区栄 学区 (名古屋工業大 学と協働)	■37町内会を対象にした講演会、事業所を含めた学区の避難 所の拡充、避難所に必要な物品リストの作成など ■7月17日防災講演会/約100名参加WS(栄・大須1・2丁目)/9 月25日/約50名参加。WS(栄・大須3・4・5丁目)/10月24 日/約31名参加。事業所向けアンケートの実施、5月31日/ 帰宅困難者訓練の実施
防災ネットきずこう会支援	高浜市	■地域防災力向上のための講演会、WS、避難訓練の実施■6 月7日講演会・HUG、6月30日クロスロード、7月18日～20 日宮城県七ヶ浜町でのボランティア活動、8月1日避難所開 設訓練打合せ①、9月2日打合せ②、9月7日避難所開設訓練、 12月10日訓練振り返りWS、2月7日成果報告会を実施
災害ボランティアコーデ ィネーター養成講座	瀬戸市	■災害ボランティアに関わる講演会、WSの実施。■災害ボラン ティアセンターに関する講演と演習/6月29日、災害ボランティ アコーディネーターに関する講演と演習/7月5日を実施。各回 約40名参加
自主防災組織活性化	安城市 安城市社協	■避難所運営に関する講演会、WS、避難所運営訓練、手引書作 成■WS①6月17日/説明会、7月20日/防災講演会、WS②8月19 日/HUG、WS③9月9日/訓練内容の検討、WS④10月28日/避難所 訓練の役割分担、WS⑤12月16日/訓練の振り返り、WS⑥2月3 日手引書の作成、12月6日/避難所運営訓練実施(約600名参加)、 3月21日/成果報告会実施(約100名参加)
地域防災リーダー育成講 座	岐阜県岐南町	■地域防災リーダー養成のための講演会、WSの実施など ■地域防災力の向上に関する講演/6月15日、避難所の課題に関 する講演・HUGを実施/8月3日。各回約60名が参加
各務原市防災ひとづくり 講座	岐阜県各務原市	■災害・防災ボランティアに関わる講演会、WSの実施など 10月19日、11月15日、16日、30日に講演と演習を織り交ぜ た全4回の講座を実施。約40名参加

災害 VC 養成・フォローアップ講座	名古屋市	■災害ボランティアコーディネーター養成講座■19期実施(9月7, 13, 14日)26名修了■20期実施(12月14, 20, 21日)35名修了■フォローアップ講座を実施(2月8日)68名受講。減災館見学、地域力向上のWS
福祉施設・事業所防災対策セミナー	名古屋市	■名古屋市内の福祉施設・事業所の防災担当を対象に、講演会と防災ゲーム(KIZUKI)を実施。約30名参加
防災人材交流セミナー	防災人材交流セミナー実行委員会	■本年度は、4回目。8月23日実施 ESD大学生リレーシンポジウムの中の一分科会との位置づけで、子ども向けの防災かるた/すごろく/KIZUKI ゲーム/非常持出袋ビンゴのデモンストレーションを行った。参加者約160名
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	■周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out(指定された開催日時に参加者が自主的に行う大規模防災訓練)の実施 9月11日名古屋テレビ塔にて実施。企画運営・炊き出しコーナーを担当
防災フェスタ	なごや防災ボランティアネットワーク	■防災啓発イベントのための、防災コーナーでの企画・運営。本年度は昭和区で実施(11月30日。昭和区役所)
広報関連事業		
事業名	主体・連携先	事業内容
あるある(機関紙)	RSY	毎週火曜日ボランティアによる「編集会議」実施。会員、その他関係機関などに年6回、約600部発行
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
各種検討会等		
依頼先	内容	
内閣府	■大規模災害時におけるボランティア活動の広域連携に関する意見交換(栗田) ■災害対策標準化推進WG(栗田) ■防災ボランティア活動検討会(栗田) ■防災教育チャレンジプラン実行委員会(栗田)	
愛知県	■防災のための愛知県ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■愛知県地震対策有識者懇談会(栗田) ■あいち防災協働社会推進委員会(栗田) ■愛知県防災会議(栗田) ■愛知県防災人材のあり方検討会(栗田) ■愛知・名古屋地域強靱化計画会議(栗田) ■愛知県みずから守るプログラム勉強会アドバイザー委員(栗田)	
名古屋市	■なごや災害ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■名古屋市地震対策専門委員会(栗田) ■名古屋市市民活動推進協議会(栗田) ■地域福祉に関する計画策定委員会(栗田) ■名古屋市消防団のあり方検討会座長(栗田)	
愛知県社協	平成26年市町村社協災害対応支援部会(浦野)	
名古屋都市センター	減災まちづくり研究会(栗田)	
中央共同募金会	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(栗田)	
静岡県ボランティア協会	■東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会(栗田)、 ■ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワーク常任委員会(栗田)	
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	ホテル旅館の災害時利用推進事業WG(栗田)	
日本災害復興学会	理事・復興支援副委員長(栗田)	
名古屋学院大学	大学COC事業名古屋キャンパス委員会(浦野)	
関西学院大学災害復興制度研究所	白書研究会(栗田)	
非常勤講師		
依頼先	内容	
至学館大学・同短期大学	総合社会参加(ファシリテーション)論(栗田)	
名古屋工業大学大学院	リーダーシップ論(栗田)	

名古屋学院大学		減災福祉まちづくり論・演習(浦野)
被災地スタディツアー事業		
<b>事業名</b>	<b>主体・連絡先</b>	<b>事業内容</b>
スタディツアー	RSY	阪神・淡路大震災(神戸市)、新潟県中越地震(長岡市)

収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	「被災者が一番伝えたいこと」、震つなブックレット等の販売
物品販売	耐震DVD・防災紙芝居の販売
防災用品の開発・販売	防災グッズ(じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等) 家具転倒防止グッズ(S・K ベルト)

会議の開催に関する事項

会議名	日程	時間	場所	議題
総会				
通常総会	6月22日	14:00～16:30	名古屋建設業協会 1 階会議室	① 2013(平成 25)年度事業報告の承認 ② 2013(平成 25)年度決算報告の承認 ③ 2014(平成 26)年度事業計画の議決 ④ 2014(平成 26)年度予算の議決
臨時総会	2015 年 2 月 22 日	12:30～13:00	名古屋 YWCA 2 階ビッグスペース	① 役員報酬規程の承認
理事会				
第 1 回 理事会	6 月 13 日	19:00～21:00	久屋事務所	① 2013(平成 25)年度事業報告案・決算案 ② 2014(平成 26)年度事業計画案・予算案 ③ 人事について
第 2 回 理事会	9 月 19 日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告
第 3 回 理事会	12 月 19 日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 各理事からの近況報告 ③ その他
臨時理 事会	2015 年 1 月 21 日	19:00～19:30	久屋事務所	① 役員報酬規程案
第 4 回 理事会	2015 年 3 月 20 日	19:00～21:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 賞与・人事について
評議員会				
第 1 回 評議員会	2015 年 2 月 20 日	19:00～20:00	久屋事務所	① 事業進捗報告、予算執行状況 ② 評議員各位よりご意見・ご助言

# 2014(平成26)年度 活動計算書

2014(平成26)年4月1日から2015(平成27)年3月31日まで

(単位:円)

科目	特定非営利活動	その他事業	合計
I 経常収入の部			
1 受取会費			
正会員	1,160,000		1,160,000
賛助会員	1,129,000		1,129,000
2 受取寄付金			
寄付金収入	13,202,702		13,202,702
3 受取助成金等			
助成金収入	6,274,600		6,274,600
4 事業収益			
被災者支援事業	38,911,392		38,911,392
講演会事業	5,076,779		5,076,779
調査研究・出版事業	386,640		386,640
人材交流・ネット事業	48,528,131		48,528,131
養成講座・研修事業	13,012,848		13,012,848
相談・助言・提言事業	1,791,249		1,791,249
スタディツアー事業	8,000		8,000
5 その他収益			
物販収入		1,291,386	1,291,386
雑収入	188,232		188,232
受取利息	6,168		6,168
経常収益合計	129,675,741	1,291,386	130,967,127
II 経常費用			
1 事業費			
被災者支援事業	31,643,073		31,643,073
講演会事業	2,803,119		2,803,119
研究調査・出版事業	120,620		120,620
人材交流・ネット事業	47,201,871		47,201,871
広報関連事業	1,096,032		1,096,032
養成講座・研修事業	3,919,340		3,919,340
相談・助言・提言事業	1,425,058		1,425,058
スタディツアー事業	265,684		265,684
助成金事業	5,706,427		5,706,427
物販仕入		583,736	583,736
事業費計	94,181,224	583,736	94,764,960
2 管理費			
(1) 人件費			
役員等交通費	0		0
給与手当	1,073,115		1,073,115
雑給	1,544,055		1,544,055
法定福利費	4,631,196		4,631,196
福利厚生費	405,804		405,804
人件費計	7,654,170		7,654,170



(2)その他経費			
旅費交通費	3,488,003		3,488,003
会議費	87,868		87,868
通信運搬費	710,393		710,393
消耗品費	3,794		3,794
印刷製本費	0		0
賃借料	2,325,261		2,325,261
水道光熱費	295,178		295,178
保険料	338,528		338,528
租税公課	3,935,285		3,935,285
減価償却費	1,522,285		1,522,285
修繕費	135,722		135,722
雑費	3,056,482		3,056,482
その他経費計	15,898,799		15,898,799
管理費計	23,552,969	0	23,552,969
経常費用計	117,734,193	583,736	118,317,929
当期経常増減額	11,941,548	707,650	12,649,198
経理区分振替額	707,650	△ 707,650	0
当期正味財産増減額	12,649,198	0	12,649,198
前期繰越正味財産額			47,860,563
次期繰越正味財産額			60,509,761

## 貸借対照表

2015(平成27)年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,554,575		
未収金	15,023,840		
立替金	683,717		
前払費用	25,685		
商品	171,199		
貯蔵品	2,099,390		
流動資産合計		44,558,406	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
設備	636,805		
車輛運搬具	6,140,316		
什器備品	882,271		
有形固定資産計	7,659,392		
(2) 投資その他の資産			
保証金	750,000		
長期前払費用	13,835		
リサイクル預託金	42,580		
基金積立預金	22,500,000		
投資その他の資産計	23,306,415		
固定資産合計		30,965,807	
資産合計			75,524,213
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	11,907,615		
前受会費	183,000		
預り金	518,837		
未払消費税等	2,405,000		
流動負債合計		15,014,452	
負債合計			15,014,452
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		47,860,563	
当期正味財産増減額		12,649,198	
正味財産合計			60,509,761
負債及び正味財産合計			75,524,213

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理しています。

### 2. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

内容	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
設備	0	651,240	0	651,240	14,435	636,805
車輛運搬具	5,230,525	6,648,680	0	11,879,205	5,738,889	6,140,316
什器備品	1,937,859	454,400	0	2,392,259	1,509,988	882,271
投資その他の資産						
保証金	130,000	750,000	130,000	750,000	0	750,000
合計	7,298,384	8,504,320	130,000	15,672,704	7,263,312	8,409,392

### 3. 基金の増減内訳

(単位:円)

内容	期首取得価額	取得	減少	当期末残高
投資その他の資産				
基金積立預金	22,500,000	0	0	22,500,000
合計	22,500,000	0	0	22,500,000

### 4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人のの正味財産は60,509,761円ですが、そのうち10,000,000円は西田基金事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は、50,509,761円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
西田基金事業	0	10,000,000	0	10,000,000	故・西田敏子さんの遺言により寄付された被災者のための基金
合計	0	10,000,000	0	10,000,000	

# 平成26年度 財産目録

平成27年 3月31日 現在  
 特定非営利活動法人レスキューストックヤード  
 (単位 円)

科 目 ・ 摘 要		金 額		
I. 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現金預金				
手許現金		8,838,711		
預貯金				
普通預金	三菱東京UFJ銀行本山支店	3,048,533		
普通預金	三菱東京UFJ銀行本山支店	19,940		
普通預金	三菱東京UFJ銀行本山支店	4,654		
普通預金	三菱東京UFJ銀行本山支店	0		
普通預金	三菱東京UFJ銀行大津町支店	10,000,206		
普通預金	三菱東京UFJ銀行大津町支店	2,862,215		
普通預金	七十七銀行仙台駅前支店	335,678		
普通預金	七十七銀行七ヶ浜支店	1,277,120		
普通預金	三井住友銀行名古屋支店	33,044		
普通預金	りそな銀行名古屋支店	0		
通常貯金	(株)ゆうちょ銀行	0		
振替貯金	(株)ゆうちょ銀行	86,330		
振替貯金	(株)ゆうちょ銀行	48,144		
未収金	愛知県防災局災害対策課他	15,023,840		
立替金	震災が繋ぐ全国ネットワーク他	683,717		
前払費用	自賠責保険未経過分他	25,685		
商品	きずなハウス販売用商品	171,199		
貯蔵品	ブックレット他	2,099,390		
流動資産合計			44,558,406	
2. 固 定 資 産				
(1)有形固定資産				
設備	きずなハウス店舗改修工事	636,805		
車輛運搬具	ハイエース他2台	6,140,316		
備品	アルミコンテナ他	882,271		
有形固定資産 計		7,659,392		
(2)投資その他の資産				
保証金	鈴与興業(株)倉庫保証金	750,000		
長期前払費用	自賠責保険未経過分	13,835		
リサイクル預託金	車輛リサイクル預託金3台	42,580		
基金積立金	(株)ゆうちょ銀行	22,500,000		
投資その他の資産 計		23,306,415		
固定資産合計			30,965,807	
資 産 合 計				75,524,213
II. 負 債 の 部				
1. 流 動 負 債				
前受会費	2015年度会費 20件	183,000		
預り金	源泉所得税及び復興特別所得税3月分他	518,837		
未払費用	社会保険料他	11,907,615		
未払消費税等	26年度確定分	2,405,000		
流動負債合計			15,014,452	
負 債 合 計				15,014,452
正 味 財 産				60,509,761


## 監 査 報 告 書


私共は、特定非営利活動法人レスキューストックヤードの平成26年度(平成26年4月 1日より平成27年 3月31日まで)の理事の業務執行ならびに活動計算書、貸借対照表及び財産目録の監査をいたしました。

監査の結果、理事の業務は適正に執行され、活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、同日を持って終了する事業年度の収支の状況並びに平成27年 3月31日現在の財政状態を適正に表示されていると認めます。

平成27年 6月 5日

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

監 事 元 岡 征 志 

監 事 米 澤 真 弓 

# 2015(平成27)年度事業計画

2015(平成27)年4月1日から2016(平成28)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

## 1 事業実施の方針

東日本大震災から節目の5年目は、さらに風化との戦いの様相を深めている。沿岸部の高台・災害公営住宅への移転課題に対して、行政は順次進めてはいるものの、引っ越し後に新しい住居での住み心地への違和感や新たな孤立環境を生む現実が浮き彫りになってきている。故に、丁寧な生の声の聞き取りや、復興の街づくりに向けて被災者のニーズに応じた、行政・住民・ボランティアによるきめ細かい支援が求められる。一方、愛知県への県外避難者への支援も愛知県被災者支援センター運営業務を通じて継続しているが、帰還する人と留まる人とが離れていく中、再度の個別訪問を行い個別の本音を聞くことで、抜け落ちムラを生まないようにする。多発するであろう集中豪雨水害に対しては、タイムリーな支援を第一とし、市民の防災意識の向上、子ども防災、避難行動要支援者支援、避難所運営、災害ボランティアの質の向上などをキーワードに、地域ニーズに沿ったアプローチを丁寧に開拓・提供していくことを目標に、以下の事業を進める。また、認定NPO法人となったことを最大限に生かし、活動基盤を安定させるためにも寄附拡大に努める。

## 2 事務局体制

【名古屋事務局】専従職員3名、嘱託職員5名、アルバイト5名【七ヶ浜事務局】専従職員1名、嘱託職員2名、アルバイト2名(現地採用)【愛知県被災者支援センター】事務局長1名、派遣嘱託職員2名、派遣アルバイト2名

## 3 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

被災者支援事業			
事業名		主体・協働先	事業内容
東日本大震災支援関連	七ヶ浜町基本支援	RSY	■足湯ボランティア■仮設店舗「七の市商店街(きずなハウスの運営)」、「きずな工房」「きずな公園」運営サポート■漁業支援(「七ヶ浜町ぼっけクラブ七友会」特産物販売支援)■七ヶ浜復興応援サポータープロジェクトの推進等
	被災3県への「うるうるパック」配布	災害ボランティア支援プロジェクト会議(支援P)	■被災3県の高台・災害公営住宅移転者へのうるうるパックの配布
	子ども復興支援企画	ユニー・グループホールディングス(株)	■2015年8月20日ウインクあいちにてNaNa5931公演決定。トヨタ自動車、ブラザー工業・国際ソロプチミスト名古屋など協賛団体を募り、実施 ■8月～11月まで全国サークルKサンクスにて実施の店頭募金の活用事業。海のキッズハウス計画を提案
	ネットワーク		■(仮)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)準備会■東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)■愛知県被災者支援センター(愛知県委託事業/事務局担当)■東日本大震災支援ボランティアセンターなごやへの参画
	福島県会津美里町支援	RSY	檜葉町から宮里仮設住宅へ避難されている方々を対象に交流企画を実施
	県外避難者支援	RSY	愛知県被災者支援センターを通じて繋がった被災者を対象に、サロン活動など

緊急救援	RSY	被災地の緊急救援及び生活再建支援活動
周年	RSY・各地の被災地	東海豪雨水害 15 周年企画への参画
復興支援	RSY	阪神・淡路大震災、丹波土砂災害など
<b>調査研究・出版事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>
年賀寄付金配分事業（助成金事業）	RSY	災害時に被災者へ健康と安心の場を提供するための炊き出しツール開発事業
JTNPO 助成事業（助成金事業）	RSY・緑区ボラコ・緑区児童館など	未来のために子どもと親が取り組む地域防災教育モデル事業
避難行動計画策定	名古屋市危機管理局地域防災室	名古屋市震災避難行動計画策定等支援事業
大学連携	名古屋大学	災害対策室・減災連携研究センターとの連携(各種研究会、イベント等への参加)
大学連携	京都大学	防災研究所との連携(各種研究会、イベント等への参加)
大学連携	名古屋工業大学	高度防災工学センターとの連携(各種研究会、イベント等への参加。外国人留学生向けの防災教室での連携)
<b>人材交流・ネットワーク推進事業</b>		
<b>事業名</b>	<b>主体・協働先</b>	<b>事業内容</b>
RSY 有識者パートナー		有縁の学識経験者を招き、RSY 会員を対象としたサロン形式の講演会等を企画するも、東日本大震災以降、休眠状態。抜本的な企画の練り直しが必要
会員寄附拡大プロジェクト（真如苑助成金事業）	RSY	賛助会員、寄附者拡大施策の実施。「認定 NPO 法人」認定報告会実施。団体紹介パンフレット改定版作成等
RSY758	RSY	会員寄附拡大に的を絞って事務局から支援をお願いする。ボランティアの自主活動（チャリティリレーマラソン参加等）については、自主性を尊重する
RSY ボランティア DAY	RSY	あるある発送作業やイベント準備など様々な事業の取り組みを応援頂く
名古屋ネット	名古屋市など	なごや災害ボランティア連絡会 なごや防災ボラネット 三遠南信交流会参加 子ども防災デイキャンプ
愛知県ネット	愛知県など	防災のための愛知県ボランティア連絡会・定例会議出席 あいち防災協働社会推進協議会定例会出席・あいち防災フェスタ・家具転倒防止対策推進フェアへの参加 県二年目研修生受け入れ(7 月～11 月)
岐阜県ネット	岐阜県など	■清流の国ぎふ防災・減災センター
東海圏ネット	静岡県ボランティア協会など	静岡県ボランティア協会：第 11 回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練参加
全国ネット	全国の NPO・NGO・社協・企業など	東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援 P)、震災がつなぐ全国ネットワーク(震つな)、JVOAD 構想などへの参画
NPO ネット	名古屋市内の NPO など	中間支援 NPO などとの交流・連携
タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム（助成金事業）	RSY	東海 3 県ネットワーク化推進事業

養成講座・研修事業		
事業名	主体・協働先	事業内容
防災人材育成(防災・減災カレッジ)	あいち防災協働社会推進協議会	事務局担当。モリコロ助成金事業
みずから守るプログラム	愛知県建設部河川課	愛知県内のモデル地区にて、水害ハザードマップ作りや避難行動訓練を実施
外国人留学生向けの防災教室	名古屋市昭和区	外国人向けの防災教室（港防災センター見学と非常食試食）名古屋工業大学と連携
中学校防災講演会	名古屋市守山区	区内中学校8校を対象とした講演会の実施
大須商店街まちかど地震訓練	名古屋市中区	大須商店街連合会組合員を対象とした訓練 11 月 15 日実施
避難所運営訓練	名古屋市熱田区	熱田区避難所開設・運営訓練
避難所運営訓練	名古屋市中村区	学区住民 30 名対象。中長期に渡る避難生活を送るための衛生環境の整った避難所のあり方を考える
防災ボランティアリーダー養成講座	清須市	地域防災力向上のための講演会、WS の実施など
防災ネットきずこう会支援	高浜市	地域防災力向上のための講演会、WS、避難訓練の実施など
災害ボランティアコーディネーター養成講座	瀬戸市	災害ボランティアに関わる講演会、WS の実施など
自主防災組織活性化	安城市・安城市社協	自主防災組織支援事業
地域防災リーダー育成講座	岐阜県岐南町	地域防災リーダー養成のための講演会を実施予定
各務原市防災ひとづくり講座	岐阜県各務原市	災害・防災ボランティアに関わる講演会、WS を含め全 4 回の講座を実施予定
災害 VC 養成・フォローアップ講座	名古屋市	災害ボランティアコーディネーター養成講座 21 期（若者向け、宿泊型）22 期（3 日間、継続カリキュラム）とフォローアップ講座を実施予定
防災人材交流セミナー	防災人材交流セミナー実行委員会	本年度は、5 回目。しっかりした継続体制がための為、防災減災カレッジのフォローアップ講座として、あいち防災協働社会協議会の分科会に位置付けられるよう働きかけていく
名古屋 Shake Out	名古屋 Shake Out 実行委員会	周辺の産官学民の有志が集い、Shake Out（指定された開催日時に参加者が自主的に行う大規模防災訓練）の実施。企画運営・炊き出しコーナーを担当。名古屋テレビ塔。9 月 11 日
防災フェスタ	なごや防災ボラネット	防災啓発イベントのための、防災コーナーでの企画・運営。本年度は瑞穂区で実施。7 月 5 日
ボランティア研修会	真宗大谷派	第 5 回ボランティア研修会（北陸連区）想定される大規模災害への対応として、連区内近隣教区・別院が協力・連携できる体制の確立と、ボランティア研修会。金沢。6 月 16～17 日
広報関連事業		
事業名	主体・連携先	事業内容
あるある(機関紙)	RSY	毎週火曜日ボランティアによる「編集会議」実施。会員、その他関係機関などに年 6 回、約 600 部発行
Web	RSY	ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
各種検討会等		
依頼先	内容	
内閣府	■中央防災会議（栗田） ■災害対策標準化推進 WG(栗田) ■防災ボランティア活動検討会(栗田) ■防災教育チャレンジプラン実行委員会(栗田) ■避難所の確保と質の向上に関する検討会（浦野）	



愛知県	■防災のための愛知県ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■愛知県地震対策有識者懇談会(栗田) ■あいち防災協働社会推進委員会(栗田)、愛知県防災会議(栗田) ■愛知県防災人材のあり方検討会(栗田) ■愛知県みずから守るプログラムアドバイザー委員(栗田)	
岐阜県	清流の国ぎふ 防災・減災センター コーディネーター (栗田)	
名古屋市	■なごや災害ボランティア連絡会(栗田・浜田) ■名古屋市地震対策専門委員会(栗田) ■名古屋市市民活動推進協議会(栗田) ■名古屋市消防団のあり方検討会座長 (栗田)	
愛知県社協	平成 27 年市町村社協災害対応支援部会(浦野)	
名古屋都市センター	減災まちづくり研究会(栗田)	
中央共同募金会	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(栗田)	
静岡県ボランティア協会	■東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会(栗田) ■ふじのくに国際災害ボランティア支援ネットワーク常任委員会(栗田)	
日本災害復興学会	理事(栗田) 学会員(浦野)	
名古屋学院大学	大学COC事業名古屋キャンパス委員会(浦野)	
関西学院大学災害復興制度研究所	白書研究会(栗田)	
中村区	中村区における災害時要援護者のための避難所支援ガイド作成会議アドバイザー (浦野)	
非常勤講師		
依頼先		内容
至学館大学・同短期大学		総合社会参加(ファシリテーション)論(栗田)
名古屋工業大学大学院		リーダーシップ論(栗田)
名古屋学院大学		減災福祉まちづくり論・演習(浦野)
被災地スタディツアー事業		
事業名	主体・連絡先	事業内容
スタディツアー	RSY	阪神・淡路大震災(神戸市)、新潟県中越地震(長岡市)、能登半島地震(穴水町)、新潟県中越沖地震(刈羽村) など

#### 収益活動に係る事業

事業名	事業内容
印刷代	輪転機・コピー機の有料使用
書籍販売	「被災者が一番伝えたいこと」、震つなブックレット等の販売
物品販売	耐震DVD・防災紙芝居の販売
防災用品の開発・販売	防災グッズ(じしんだゾウさんてぬぐい、紙ぶるる等)

# 2015(平成27)年度 活動予算書

2015(平成27)年4月1日から2016(平成28)年3月31日まで

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

科目	特定非営利活動	その他事業	合計	備考
I 経常収入の部				
1 受取会費				
正会員	1,300,000		1,300,000	団体(¥10,000)20団体、個人(¥10,000)110名
賛助会員	1,800,000		1,800,000	団体(¥10,000)20団体、個人(¥10,000)160名
2 受取寄付金				
寄付金収入	3,000,000		3,000,000	一般市民、企業、理事、その他
3 受取助成金等				
助成金収入	10,000,000		10,000,000	モリコロ基金、年賀寄附金、JT、タケダ、その他
4 事業収益				
被災者支援事業	30,000,000		30,000,000	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議、ユニーグループホールディングス㈱、その他
講演会事業	5,000,000		5,000,000	講演会等講師派遣、講演会主催、マスコミ取材など
調査研究・出版事業	300,000		300,000	南海トラフ巨大地震対策事業、名古屋学院大学防災福祉事業ほか
人材交流・ネット事業	46,500,000		46,500,000	愛知県被災者支援センター、防災・減災カレッジ運営業務事業など
養成講座・研修事業	8,500,000		8,500,000	名古屋市・各区事業、養成講座、自主防災組織活性化事業など
相談・助言・提言事業	1,000,000		1,000,000	防災訓練、各種委員会委嘱、原稿執筆など
スタディツアー事業	10,000		10,000	スタディツアー企画料
5 その他収益				
物販収入		1,000,000	1,000,000	きずな工房、ブックレットなど
雑収入	90,000		90,000	
経常収益合計	107,500,000	1,000,000	108,500,000	
II 経常費用				
1 事業費				
被災者支援事業	25,000,000		25,000,000	緊急救援、周年事業、復興支援事業など
講演会事業	3,000,000		3,000,000	講演会講師、講演会主催、マスコミ取材など
研究調査・出版事業	150,000		150,000	南海トラフ巨大地震対策事業、名古屋学院大学防災福祉事業ほか
人材交流・ネット事業	42,000,000		42,000,000	愛知県被災者支援センター、防災・減災カレッジ運営業務事業など
広報関連事業	1,000,000		1,000,000	あるある、ITなど
養成講座・研修事業	4,000,000		4,000,000	名古屋市・各区事業、養成講座、自主防災組織活性化事業など
相談・助言・提言事業	500,000		500,000	防災訓練、各種委員会委嘱、原稿執筆など
スタディツアー事業	300,000		300,000	スタディツアー
助成金事業	9,000,000		9,000,000	モリコロ基金、年賀寄附金、JT、タケダ、その他
物販仕入		500,000	500,000	
事業費計	84,950,000	500,000	85,450,000	
2 管理費				
(1) 人件費				
役員等交通費	50,000		50,000	理事・監事・評議員の会議時交通費
給与手当	1,000,000		1,000,000	職員給与
雑給	2,000,000		2,000,000	アルバイト給与
法定福利費	5,000,000		5,000,000	職員社会保険料、労働保険料など
福利厚生費	400,000		400,000	職員慶弔費、研修費など
人件費計	8,450,000	0	8,450,000	
(2) その他経費				
旅費交通費	3,000,000		3,000,000	職員通勤費、外出交通費など
会議費	100,000		100,000	総会、理事会、評議員会費用など
通信運搬費	800,000		800,000	電話料、郵送料、宅配料など
消耗品費	800,000		800,000	文具、コピー・印刷用品、消耗品など
印刷製本費	100,000		100,000	名刺代、パンフレット、封筒代など
賃貸料	2,400,000		2,400,000	事務所家賃、コピー機、印刷機、駐車場など
水道光熱費	300,000		300,000	水道代、電気代など
保険料	400,000		400,000	火災保険・車輛任意保険など
租税公課	4,000,000		4,000,000	法人税・消費税・印紙代など
減価償却費	1,500,000		1,500,000	
修繕費	200,000		200,000	事務所修繕など
雑費	1,000,000		1,000,000	その他
その他経費計	14,600,000	0	14,600,000	
管理費計	23,050,000	0	23,050,000	
経常費用計	108,000,000	500,000	108,500,000	
当期経常増減額	△ 500,000	500,000	0	
III 経常外収益				
経常外収益計				
IV 経常外費用				
経常外費用計				
経理区分振替額	500,000	△ 500,000		
当期正味財産増減額	△ 500,000	500,000	0	
前期繰越正味財産額			60,509,761	
次期繰越正味財産額			60,509,761	

## 理事の変更について

任期満了に伴い、以下の役員を選任する

役 職	氏 名	備 考
理事	栗田 暢之	
理事	浦野 愛	
理事	飛田 潤	
理事	鷺見 修	
理事	萩原 喜之	
理事	高崎 賢一	
理事	秀島 栄三	
理事	松田 曜子	
理事	伊藤 秀行	
監事	米澤 真弓	
監事	元岡 征志	